

## 「相馬野馬追出陣式」 観客の安全確保の支援活動

相馬第 1 団では、行事運営委員会からの依頼により、毎年、「相馬野馬追出陣式」にお見えになる観客の安全確保のための奉仕活動を行ってきました。

残念なことに、相馬第 1 団はスカウトの減少しており、県北地区全体としてその活動を支援してきました。その中で、カブスカウト（年代別に分かれて活動するボーイスカウトにおいて、小学校3～5年生が活動するグループです）隊の活動支援に行ってきた福島第 4 団に、参加協力の申し出がありました。

コロナ感染拡大防止のために「相馬野馬追」開催の規模（去年は中止）は、なかなか決定せず、最終的に「出陣式」のみとなりました。そのため、コロナ感染防止の観点から、スカウト指導者

共に最小限に絞った人数での参加となり、7月24日10時から、相馬市中村神社にて、スカウト6名、指導者7名での奉仕活動となったところです。

奉仕活動に参加した相馬第 1 団のスカウト達からは、「圧倒的に前より観客が少ない」、「白い馬より栗毛のほうがかっこいい！」など相馬っ子らしい感想が聞かれました。

一方、福島第 4 団のスカウトからは、「長く続く伝統行事の重みの圧がすごい」「初めて間近で見た馬が思っていたより大きい」など、それぞれの地域のスカウトの感想が地域の特色を表して、興味深く感じられます。

今回の「相馬野馬追出陣式」の観客安全確保の支援活動を通じて、違う地区（地域）との交流は、新しい活動の環を広げ、新たな仲間をえるきっかけになればと感じました。

また、地域の行事等を改めて認識して活動することの重要性を実感しました。

※新型コロナウイルス感染拡大を受け、福島県が非常事態宣言を発する前の活動です。

